

環境問題について

こんにちは、私たちは愛国学園大学附属四街道高等学校の生徒です。今回の発表では、環境問題について、ここ四街道市ではどのような取り組みができるのかを話していきたいと思います。

まず私たちが注目したのは、地球温暖化についてです。地球温暖化の原因となる温室効果ガスは、二酸化炭素が大きな割合を占めています。その排出量を抑え、私たちの日常を私たちが保とうと、今や世界中が協力し合っています。

そこから私たちは、本校の教訓である「親切・正直」に基づき、学生でも何か支援をしたいと考えました。その活動として、まずは四街道市に緑を増やしたいと考えています。森林や植物が減少している今、二酸化炭素の排出量を抑えるだけでは、日常を保つことは長い目で見ると足りないことでしょうか。今だけに囚われず、細く長く続けられるようにしていくべきではないでしょうか。

また、私事ですが、イトーヨーカ堂の近くにある松並木に植えられている花がとても好きです。いつも綺麗な花が咲いており、通るたびに元気をもらっています。そして、先日私は駅前広場の花壇整備のボランティアに参加しました。花が増えることも嬉しいことです。ただ、そのボランティア活動の最後にゴミ拾いをした際、たばこの吸い殻が非常に多くポイ捨てされていることが気になりました。駅前に喫煙スペースがあるからだと考えます。たばこは環境だけでなく、身体にも害を及ぼすので、駅前の喫煙スペースについて考えていただきたいと思いました。

もう一つ着目したことは、小名木川についてです。今、四街道市では小名木川でホタルを見る会などが行なわれています。また、小名木川の他にも、市内にはホタルの自生地が数か所あります。この貴重な自然を維持するため、地域と市民団体の皆様が年2回、自生地周辺の水路清掃等を行い、ホタルの住みよい環境を維持する活動に取り組んでいると聞いています。私たちもこの活動に協力し、貴重な自然の保全に携わっていきたいと思います。さらには市内全域の水辺がホタル観察地になるよう、何ができるかを今後勉強していきます。

私たち高校生を含めた、未成年者にできることは限られています。多額のお金が出せるわけでもなく、常日頃、四街道市のために行動できるわけでもありません。ですが、少しでも四街道市の環境保全のための活動に賛同し、尽力したいと考えています。

私たちにできることとして、校訓である「親切・正直」に基づき、ボランティア活動や環境に関する情報の発信や呼びかけを積極的に行うことがあげられます。これらを行うことで、四街道市に住む皆さんの環境に対する意識が変わり、問題解決に近づけると 생각합니다。

地域全体で環境を守れるように行動し、緑豊かな街づくりと、二酸化炭素の削減に協力できる関係に御協力をお願いします。